

2026年10月期（第45期） 第3四半期決算補足資料

株式会社システム ディ

証券コード

3804

2026年9月14日

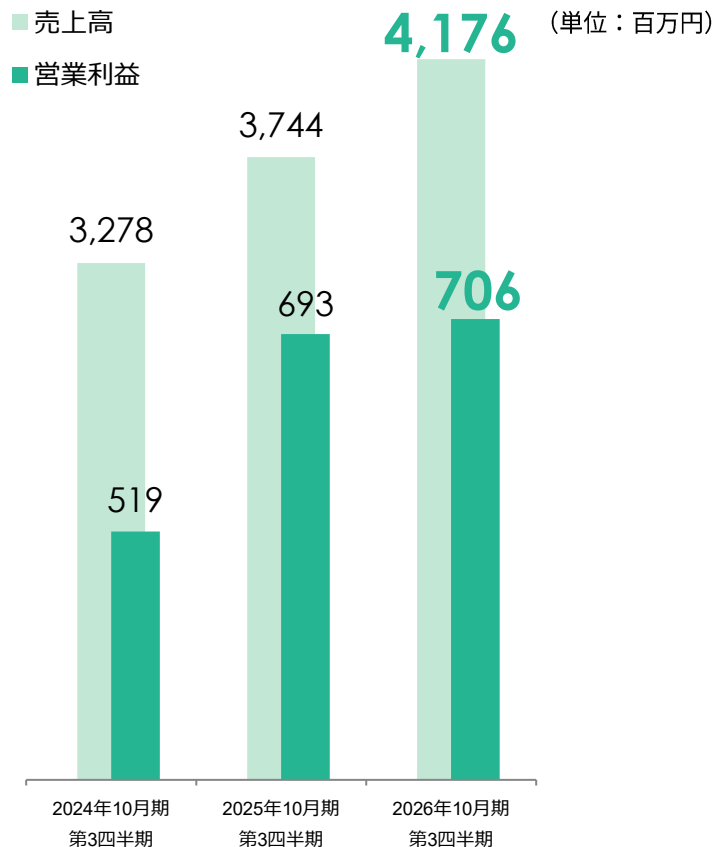


A large, stylized teal swoosh graphic that curves from the top right towards the bottom right, framing the text on the left.

2026年10月期 第3四半期決算概要

2026年10月期(45期)第3四半期決算の概況

複数事業において大型案件の稼働が開始し、ストック収益の積み上げ、売上高・営業利益ともに堅調に推移しました。次世代製品やAIサービスの開発・展開を進め、中長期的な成長基盤の強化に取り組んでおります。



売上高 **4,176** 百万円
対前年 432 百万円 (111.5 %) ↑

営業利益 **706** 百万円
対前年 13 百万円 (101.9 %) ↑

前年同期比

(単位：百万円)

	2025年10月期第3四半期 実績	2026年10月期第3四半期実績		
		実績	前年増減	前年比
売上高	3,744	4,176	432	111.5%
売上総利益	1,593	1,757	163	110.3%
営業利益	693	706	13	101.9%
経常利益	698	712	14	102.0%
当期純利益	489	443	-45	90.7%

貸借対照表

総資産

7,619 百万円 (前期末7,360百万円)

純資産

5,319 百万円 (前期末5,007百万円)

自己資本比率

69.8 % (前期末68.0%)

借 方

流動資産 **3,844** 百万円
(前年期末比234百万円増)

固定資産 **3,774** 百万円
(前年期末比24百万円増)

貸 方

流動負債 **1,905** 百万円
(前年期末比21百万円減)

固定負債 **393** 百万円
(前年期末比32百万円減)

純資産 **5,319** 百万円
(前年期末比312百万円増)

2026年10月期第3四半期のトピックス



チケットの発券を行う施設・団体に最適なシステムです。



などチケットの発券を行う施設・団体

『Smart Hello チケット』は、チケット販売を行う集客施設向けのクラウド型チケット管理システムです。

Webでの事前販売から、現地窓口・セルフ発券機による当日販売まで、施設の運用に応じたチケット販売を一元的に提供します。また、販売したチケットを入場ゲートやスマートフォンアプリなど、施設の運用に応じた入場方法とシームレスに連携させることで、スムーズな入場管理を実現し、来場者の利便性向上と施設運営の効率化を支援します。

近年、博物館や企業ミュージアム、体験型施設では、来館者数の変動に柔軟に対応しながら、チケット販売と入場管理を一体的に運用できるデジタル化ニーズが高まっています。

観光施設をはじめ、企業ミュージアムや体験型施設など幅広い集客施設において、チケット販売から入場管理までを支援するソリューションを提供しています。こうした施設領域への展開をさらに推進するとともに、今後も来場者体験の向上と施設運営の効率化に貢献してまいります。

導入事例 2026年7月1日 本格稼働

UCCコーヒー博物館様



UCC コーヒー博物館では、リニューアルオープンに伴い、Webによる事前販売の強化に加え、博物館入場チケットやイベント・体験プログラムを含めた販売運用の見直し、および施設運営に適した効率的な運用体制の構築が求められていました。

来館者の利便性向上と施設運営の効率化を両立できることに加え、施設特性に応じた柔軟な運用設計、同様の運営形態を持つ施設で培った導入実績・運用ノウハウ、機能とコストのバランスを評価いただき、採用いただきました。

導入事例 2026年7月1日 本格稼働

サッポロビール博物館様



施設価値向上を目的としたバリューアップオープンに伴い、チケット販売や入場管理の運用を刷新する必要がありました。

来場者の利便性向上と施設運営の効率化を両立できることに加え、同様の運営形態を持つ施設で培った導入実績・運用ノウハウや、施設運営全体を見据えた提案力を評価いただき、採用いただきました。

規程管理シリーズ

規程の一元管理で業務負担を軽減。

作業の効率化と周知徹底により、ガバナンスとコンプライアンスを強化。

業種・規模を問わず利用可能



一般企業



金融機関



学校



医療法人



独立行政法人 etc...

規程管理シリーズは、規程やマニュアル、業務文書の作成・管理を支援するソリューションです。主力製品である『規程管理システム』では、7月から「AI オプション機能」の提供を開始しました。AI を活用した「類似検索機能」、「要約機能」、「チャットボット機能」を新たに搭載し、規程整備や改訂業務の効率化を支援します。

また、金融業界特有の厳格な文書管理ニーズに対応した『金融機関向け文書管理システム』も導入が進んでいます。規程や各種文書の作成から改訂、共有、検索までを一元化することで、お客様の業務効率化とガバナンス強化を支援します。

規程管理システム

健全な組織運営に欠かせないコンプライアンスやガバナンスの基盤となる規程を適切に管理。作成から改訂、共有までを効率化し、組織の継続的な成長を支援します。

規程管理システムスモールプラン

規程管理業務の DX を低コストで実現するクラウドサービス。

社労士向け規程管理システム

人事労務の専門ノウハウを搭載した社会保険労務士向けクラウドサービス。



金融機関向け文書管理システム

金融機関に求められる厳格な文書管理を支援。改訂履歴や承認フローを一元管理し、業務効率化と内部統制の強化を実現します。

マニュアル管理システム

航空・車両整備・製造業向けに、マニュアルの作成・改定・共有を効率化するシステム。最新版の管理を徹底し、現場への確実な情報展開を実現します。



<https://www.systemd.co.jp/ir>

上記URLより、当社ホームページのIRサイトをご覧ください。

本資料に掲載されている情報には、業績予想・事業計画等の将来の見通しに関するものが含まれています。
これらの情報については、現時点で当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含むものです。

当社としてその実現や将来の業績を保証するものではなく、実際の業績はこれら将来の見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

投資に関する決定はご自身の判断において行っていただくようお願いいたします。